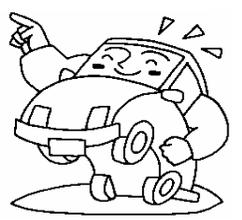


「沖電気を考える」
資産・80億円減少して836億円に

08年度はアメリカ発の金融危機で更に減少か
企業年金資産の運用は07年度は8%の減少でしたが、今年度は株価の暴落などで、更に悪化が予想されます。銀行などは公的資金(税金)で助けられますが、基金には援助はありません。
OKI企業年金基金加入者
06年 16960人
07年 16208人

機械仕掛けの生身の人間が動いているような
トヨタ自動車の働かせ方

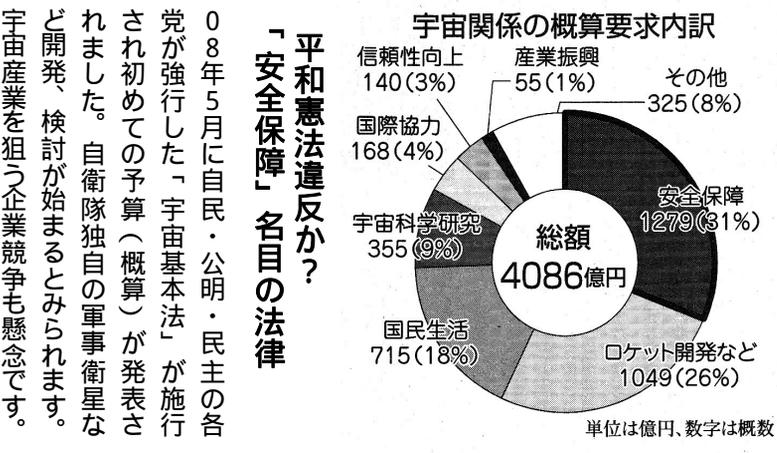
9月に行われた、働き方の研究グループ「現代労働負担研究会」のトヨタ工場見学とそこで働く人々との交流会に参加した 真喜志 晃 さん (沖電気・本庄地区)の報告です。



トヨタ堤工場(5900人)の1900人が働く組立ラインを見学しました。踊っているように全体を動かして作業していることを想像していましたが、ライン全体の長さも短く、同じ動作の繰り返しを繰り返してました。9年前、沖電気の本庄地区からも多くの人がトヨタ自動車機に出向し、1日に何百回も同じ動作をするので、手が握れない」と話していた事を思い出しました。休憩時間が終わる前には持ち場に帰り、作業開始のベルとともに一斉に動くさまは、機械仕掛けの人間

握力がなくなる同じ動作の繰り返し作業、家庭生活もできないような交替勤務、下請けでは、月給7万円の外国人労働者。間が動いているように「ブラジル人は法律で背筋が寒くなり、を知らないの、明日から来なくて良い」と言われたらすぐ諦めてしまおう。ユニオン(組合)を創って、解雇を撤回させたりしている。など。
交流会では、家族、下請け、外国人労働者も参加し、実態の報告がありました。堤工場のライン責任者の夫を過労死で失った、内村博子さんは「結婚した時から完全二交代勤務で、家庭生活もできないような働かせ方と、過労で普通の生活ができないトヨタの働かせ方の改善が必要」。下請けのデンソーのグループ会社で働く日系ブラジル人は「溜め込み金で雇用を守るなどの姿勢なし」。

宇宙基本法施行 軍事利用の拡大が懸念



平和憲法違反か? 「安全保障」名目の法律
08年5月に自民・公明・民主の各党が強行した「宇宙基本法」が施行され初めての予算(概算)が発表されました。自衛隊独自の軍事衛星など開発、検討が始まるとみられます。宇宙産業を狙う企業競争も懸念です。

JIEPテクノで契約社員が雇止め
【埼玉・本庄】
〇二年に本庄工場の生産部門を分社化して設立したJIEPテクノは、従業員が作る新会社としてNHKにも報道され華々しくスタートしました。しかし、その実態は、転籍者の賃金の三割減、5年間賃上げなし、女性従業員中心に準社員化、など働く者の犠牲の上に運営されてきました。08年10月に設立の趣旨だった高齢者の雇用を守るに反して、契約社員27名(定年退職者を3ヶ月の期間で雇用契約)を集め09年1月で全員雇止めと通知しました。賃金は減つても年金支給までは働けるとがなばつてきた従業員を簡単に辞めさせることは絶対にやってはなりません。設立時に仕事を補償する責任も大きく問われています。

新聞報道に怒りの声
【群馬支部】
「OKI・早期退職三募集」の新聞報道がされて、職場では「また人減らしか!」という怒りの声が起こりました。「こんなことばかりやっていて、従業員にチャレンジとかモラルとか言えるのか」とある職員の独り言です。
「この先沖電気は大丈夫かね。もしもの時退職金はどうなるんだ」従業員にこんな心配をさせるなんて、情けない思いです。「今回は管理職対象だと言っているけど、管理職だけで終わるわけが無い」と心配する声も聞かれます。
富岡工場は、カンパニー制が廃止され「情報通信工場」になりましたが、どうしてカ

ンパニー制を廃するのか、そもそも「フェニックス計画」は何をもたらしたのか明らかにして欲しいものです。「うちの会社は何でもやりつぱなし。JIEPがいい例だ」の声にみんな「その通りだな」とうなずいていました。
社員食堂が値上げ
【東京】
11月4日から「株」ジー・オー・フードサービスの食事が改定されました。和麺(うどん・そば)が現行210円が240円に、カレーが現行315円が370円に値上げされました。
小麦粉を初めとして食料品の値上げが続いている中、値上げもやむをえないかと思いますが、いきなり20%近い値上げに、せめて10%ぐらいに抑えて欲しいとの声が寄せられています。
定食を我慢して少しでも安いものを食べてた人たちが直撃です。会社ももう少し利用者に意向を聞くなどの配慮が必要ではないでしょうか。
年末を迎えてまた暗い話題になってしまいました。



塗装のプロが登場!??
【福島・OEFプロテック】
先月は、工場内の床面塗装を現業従業員で行っていました。今度、今度は、化工の塗装部門の人達が参戦!それだけでなく最終工程で、納期遅れが慢性化気味の会社では、もっとも忙しいはずの職場。

この光景に「ほんとに仕事がないんだ」と、職場の現状に妙に納得。と同時に、「上層部と営業は何をしてい」る!と怒りの声。
上層部の職場存続への執意が感じられない出来事です。
今こそ職場の声を聞いてほしい!
【藤・システムセンタ】
通信部門の分社化、管理職三百人の早期退職募集、グループ会社の半減など次々と出されるリストラ策に職場も重苦しい雰囲気につつまれていきます。
「社長のMBWAを聞いたが見通しもなくガツカリ」組織変更を繰返して仕事が変わっていくだけ何もう変わっていない。「挨拶運動や元気の出る標語はしらける」など不安と怒りの声が上がっています。
この間の組合の対応もなかなかスッキリしません。会社も組合も今こそ職場の声を聞くときではないでしょうか。
会社の横暴は許せない
【OKIセミコンダクタ】
一〇月に分社化して、わずか一ヶ月。「従業員の1割、600人の人員削減をする」の報道によって職場は混乱と不安に駆られています。
「分社化しても何も変わりません」と言っていた会社説明はなんだったのか。すでに、多くの派遣社員が雇止め危機にさらされています。
ロームは09年3月期・純利益見込みが140億円。借金も潤沢な企業です。生活基盤を崩すような安易な削減は直ちにやめるべきです。